

My Favorite Life Style

ブラインドサッカーWGP2019

3月19日開幕

東京
2020
パラリンピック
競技

品川区
Shinagawa City



IBSA BLIND FOOTBALL
WGP 2019

▼大会サイト



前売りチケット好評販売中！
指定席2,000円・自由席1,500円 他



©JBFA/H.Wanibe
品川区立天王洲公園(品川区東品川2-6)



ロシアは強豪ですが、自分たちのスタイルを貫き通すことは変わりませんので、勝利に向けてしっかり準備しています。今の日本がこの大会でどこまで挑戦できるか、そして自分がどこまで通用するか。全試合に覚悟を持って挑みます。ぜひ声援をお願いします！
(しながわ2020スポーツ大使・日本代表キャプテン 川村 怜 選手)



「自由をくれるスポーツ」ブラインドサッカーWGPが品川区で開催。

転がると音の出るボールを使う「ブラインドサッカー」。

5人制で、アイマスクをつけた4人のフィールドプレイヤーと1人の目の見えるゴールキーパーのチームで対戦する。視覚障がい者が自分の考えで判断し、ピッチを自由に駆け巡ることができ、選手たちは異口同音に「自由をくれるスポーツ」と表現する。動くことの喜びを爆発させる彼らの姿からは学ぶことも多い。

昨年春に新設されたIBSAブラインドサッカーワールドグランプリ、今年が第2回目。8チームが出場する今大会は、3月19日(火)から24日(日)の6日間、品川区立天王洲公園で開催される。

品川区は、日本ブラインドサッカー協会と提携し、体験授業などで積極的に応援中。世界9位の日本の初戦は、公式戦初対決となるロシア。ぜひ応援を！

ブラインドサッカー観戦の際は、こちらもぜひ散策を！会場から近い「春の品川」おすすめスポット



東品川海上公園

目黒川が天王洲南運河に注ぎ込む河川部に位置した親水性のある公園。クジラの滑り台や運河沿いのボードウォークなどが人気を集めている。公園一面に桜が咲くなか開催される「しながわ運河まつり」では、熱気球や花火などのイベントも行われ、大勢の人で賑わう。



旧東海道品川宿

東海道第一番目の宿場、品川宿。道幅は江戸時代そのまま残されており、景観も整備されている。街路灯の灯りが連なる夜の表情もおススメ。なお、9月には「しながわ宿場まつり」が開催され、豪華な衣装をまとった「おいらん道中」や「江戸風俗行列」などでは江戸情緒を感じることができる。



目黒川の桜

春には美しい桜が目黒川の両岸に咲きほころ、お花見を楽しむ人たちが賑わう花見の名所。クルーズツアーも行われており、船上から見上げる桜並木は格別だ。また、近年は桜がシーズンオフの冬の時期にLED電球でピンク色に染まった「冬の桜」を眺めることができるイルミネーションが好評で、冬のスポットともなりつつある。

品川区 × 日本ブラインドサッカー協会



品川区役所 東京都品川区広町2-1-36
TEL.03-3777-1111(代表) www.city.shinagawa.tokyo.jp
開庁時間/8:30~17:00 土日祝、年末年始(12月29日~1月3日)休
※日曜開庁、火曜延長窓口あり

品川区ブラインドサッカー応援キャラクター「やたたま」

品川区オリンピック・
パラリンピック特設サイト

shinagawa2020.jp/

しながわ2020

検索



品川区シティプロモーション
特設サイト

www.city.shinagawa.tokyo.jp/wa/

わ!しながわ

検索

